

一、交渉委員五名ハ平底十脚二十台ヲ引揚テ、胸工銀員一十五
株果モ替ヘ各自、御禮等一束禮モ拂ヒニ得メ

諸業者日本ハ公會堂ニ參集、シテノ如キ呼出狀ヲ提出、交渉委員、交渉
日録二部略モ支給スル事ニシテ。

會場内、指揮、出陣者二ハ年當以上、不類之謂アリ冲、所ト、日
ミテ。

丁度時日未清七十名、内業者五十名皆、全體聯袂ニシテ、躍進、堅忍
ニシテ、前進、一百三十八名にてセリ。

大會を諸業園管、始終ニ及、三月十四日、出張者、貴族、教業者、官
署社員、商賈者八十名モ高齋等、清某ニシテ、
シテ高齋等、半端中體外掛御者ニシテ、出發セリ。此日、同上、貴
族人會、日具軍團課體高齋見本八一、小林高齋等、半端中體外掛
、力り致セリ。

伊、大會、此輪ニ前セラ、急急、本平室一、軍樂、幕

財團法人協調會大阪支所

貴、森田兩工場次長、川瀬庶務課長ト會見シ要求ノ容認ヲ求メタ
ガ會社側ハ之ヲ受ケ付ケズ二十八名ノ誠首者ニ對シテハ工場長ハ
「彼ノ廿八名ハ工場經營者タル我々ト思想上相容レヌ所ガアルガ
爲メ此舉ニ出タル、又十三ヶ條ノ要求モ認ムル事ハ絶対ニ
出來ヌ」ト答ヘ勞資兩者トモ一步モ讓ラウトセズ相互ノ態度强硬
テアツタガ爲メ會見ハ未決ノ儘決裂シタ。

元阪以下ノ交渉委員五名ハ直チニ工場ヨリ公會堂ニ引揚ゲ以上ノ
會見頃未ヲ報告シ會社側ノ態度ノ横暴ナルニ憤慨シタ更ニ廿八日
大會ヲ開ク事ニシテ一同無事午後五時解散シタ。

會社側ハ廿七日一般罷業者ニ對シ個人宛ヲ以テ次ノ如キ呼出狀ヲ
發送シ切崩ニ着手シタ。

呼 出 狀

即時出勤ヲ命ズ

殿

高 砂 工 場